

家庭菜園相談室

今月の
テーマ

サラダに鍋に、ちょうどいいサイズを育てよう

水菜は京野菜として古くから鍋や漬物、おばんざいの定番野菜として関西地方で親しまれ、近年は水菜サラダブームに乗って全国に広まりました。シャキシャキとした他の野菜にはない歯ごたえとアクのない味、切れ込みの深い葉は見た目も美しく、小さいものはサラダ用として、大きなものは鍋用に重宝します。

図1 作型目安

	作型	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
水菜	小株採り	●							●				
	大株採り				■	■	■	■	■	■	■		
		■						●	●	★	★	■	■

● 播種 ★ 追肥 ■ 収穫



栽培のポイント

- 生育適温は15～25℃で冷涼な気候を好みますが、寒さにも強く、ほぼ1年中栽培することができます。
- 防虫ネットは、水菜の草丈が高くなってトンネルに届くまで覆っておきます。
- 早春どりはトウが立つおそれがあるため、12月以降はハウスなどによる保温が望ましいです。

作ってみたい品種

- 早生水天：分けつ旺盛で生育が早く、夏は種まきから30日ほどで収穫できます。
- 京みぞれ：小株採りに適した周年栽培が可能な品種です。様々な料理に幅広く使えます。
- 紅法師：軸が赤紫色でアントシアニンを多く含むことが特徴です。ベビーリーフサラダに最適です。

畑の準備：種まきの2週間前に苦土石灰100g/m²と堆肥2kg/m²を施し、深さ30cm位までよく耕します。

1週間前には化成肥料(畑作名人N:P:K=13-13-13)100g/m²を施し、よく耕します。

畝幅60～80cm、高さ10～15cm程に畝を立てます。マルチを敷くと雑草を抑えることができます。

種まき：畝の表面を平らにならし、深さ1cm、条間15～20cmのまき筋をつけます。支柱や木板を土に押し付けると簡単にできます。まき筋に種が重ならないように1～2cm間隔で1粒ずつ種をまき、種をまき終わったら、平ぐわなどで1cmほど覆土し、軽く鎮圧してから優しく水をかけます。

※ポット苗を移植する場合は、ポリポットに3～5粒ずつ播種し、本葉3～4枚までに1本立ちに間引きします。植え付ける際は、根鉢を崩さないように丁寧に抜き取り、畑に株間15～20cm間隔に植え付けます。

防虫ネット：種まき後、すぐに寒冷紗などの防虫ネットをトンネル掛けて下さい。できるだけネットは開けないで、収穫が終わるまで掛けておきます。

水やり：畑の土が乾燥してきたら水やりをします。寒冷紗の上からかけても大丈夫です。

間引き：発芽が揃ったら1回目、本葉2枚のときに2回目、本葉3～4枚で3回目の間引きを行い、15～20cm間隔に1本にします。2回目以降の間引きは根が深く張るので、他の株を傷めないようにハサミなどで根元から切り取ります。間引いた苗はサラダ用として食べられます。

追肥・土寄せ：大株採りは2回目の間引きをした後、化成肥料(N:P:K=8-8-8)を20g/m²程度施します。株の周りを軽くかき混ぜ、株が倒れないように株元に土寄せします。小株採りの追肥は不要です。

病害虫防除：アオムシ、コナガ、ヨトウムシなどの害虫は、防虫ネットで概ね予防できます。

病害では、根こぶ病、立枯病などが主な病気です。アブラナ科の連作を避け、早期防除を心掛けましょう。

収穫：小株採りは草丈が15cmほどになったら収穫します。小さいサイズの水菜はやわらかくてサラダや肉料理の付け合わせに最適です。中株採りは草丈が20～30cmで収穫します。

大株採りは草丈30cmほどになってから、更に茎が枝分かれて、横へ広がってずんぐりと株が太ったら収穫時期です。

家庭菜園に関する相談は、営農経済センターのTAC(タック)までご連絡ください。